

2017年10月26日

報道関係各位

さ と か ぐ ら

三芳の里神楽、海外へ

日本代表として、韓国・インドネシアとともに
マレーシアのペタリング・ジャヤ国際フェスティバルに出演



2017年9月に行われた資料館まつりに出演した竹間沢里神楽

芸術文化のまちづくりを掲げる埼玉県三芳町（町長 林 伊佐雄）は、友好関係を結ぶマレーシアのペタリング・ジャヤ市より招待を受け、町の伝統芸能である竹間沢里神楽が「ペタリング・ジャヤ国際フェア 2017 フォークロアフェスティバル」（11月4日・5日）のオープニング・イベントに出演することになりました。

同フェスティバルは、マレーシアの首都クアラルンプールに隣接する特別市であるペタリング・ジャヤ市（Petaling Jaya）が主催するイベントで、歌謡や民族楽器を用いたパフォーマンスや大道芸など、様々な伝統芸能が披露されます。このオープニング・イベントにて、同市が友好関係を結ぶ三芳町、ソウル城北区（韓国）、アサン市（韓国）、バンドン市（インドネシア）の各市が招かれ、それぞれの伝統芸能を披露します。

三芳町では2012年より、マレーシアのアジアパシフィックスマートスクールに中学生海外派遣を行っているなど、マレーシアとの国際親善交流を深めています。同フェスティバルにおいて町が誇る伝統芸能を披露することによって、日本特有の伝統的な文化の魅力発信に寄与してまいります。

<本件に関する問い合わせ先>

三芳町教育委員会 生涯学習課 生涯学習担当：三田村（ミタムラ）

TEL: 049-258-0019（内線 514・515） FAX: 049-274-1056 メール: shakai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町藤久保 1100 番地 1

三芳町の竹間沢里神楽について

竹間沢里神楽は、江戸時代の終わり頃の古文書に活動の記録が並べられています。三芳町（当時の竹間沢村）の陰陽師であった前田家が神楽師として家元を務め、古事記や日本書紀の神話を原典とした演目や創作を演じてきました。ほとんどの神楽にはセリフがなく、神楽面をつけて役を演じます。身体全体を使った仕草で役柄や場面を表現するのが特徴です。現在では前田社中を中心とした竹間沢里神楽保存会によって受け継がれており、三芳町無形民俗文化財に指定されています。

今回は、舞い手である5名がペタリング・ジャヤ国際フェスティバルに参加し、「敬神愛国」を披露します。



竹間沢里神楽保存会のみなさん

◆前田社中の家元である前田益夫さん（前列一番右）の話

竹間沢里神楽は前田家の宝です。それが世界に羽ばたく機会をいただき、とても嬉しく、大変光栄です。また、このすばらしい伝統芸能を後世に伝えるためにも、これを機に里神楽をやりたいという人が出てくることを期待しています。

◆現地でおかめ役を演じる前田早苗さん（後列一番左）の話

今回はペタリング・ジャヤ国際フェスティバルバージョンで里神楽をアレンジしてみました。楽しく里神楽の魅力を皆さんに伝えられたらと思います。

三芳町長 林 伊佐雄のコメント



このたび、ペタリング・ジャヤ国際フェスティバルより招待を受け、大変喜ばしく思います。また、三芳町の伝統芸能である竹間沢里神楽がオープニングイベントに出演することをとても楽しみにしております。

竹間沢里神楽は、一部の演目を除いて神楽面をつけて役を演じますが、家元である前田家に伝わる全ての神楽面は、代々の元締が手彫りし、補修を行いながら現在まで大切に使われてきたものです。神々の面をはじめ、翁面、モドキ面など様々な種類があり、面の表情がその役の性格を表しています。舞いはもちろんのこと、日本文化特有の神楽面にも注目していただければと思います。

この機会によって、三芳町とペタリング・ジャヤ市の国際交流がより深まることを願っております。

今後の予定

- | | | |
|-----------|---|--------------------------|
| 10月30日（月） | リハーサル（19:00～22:00） | 場所：竹間沢第1区集会所（三芳町竹間沢 877） |
| 11月 3日（金） | 出国 | |
| 11月 4日（土） | ペタリング・ジャヤ国際フェア 2017 フォークロアフェスティバルに出演
（現地時間 21 時） | |
| 11月 6日（月） | 帰国 | |